

教科名	社会	学年	2 学年
-----	----	----	------

目 標	社会的な見方・考え方を働かせ，社会的事象について関心をもち，具体的に考察する活動を通して，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地域や我が国の国土の地理的環境，現代社会の仕組みや働き，地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について，様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに，情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，自分の生活と結び付けて考えたり，社会への関わり方を選択・判断したりする力，考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (3) 社会に主体的に関わろうとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，多角的な思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚，我が国の国土と歴史に対する愛情，我が国の将来を担う国民としての自覚，世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。
学年の目標	社会の働きや移り変わりに関心をもち、社会生活に関係の深い「憲法・法律・条例」や「選挙の仕組み」、「日本の食料生産と工業生産」「日本の歴史上の主な事象」「グローバル化する世界と日本の役割」などを社会との関わりを考えながら理解したり、具体的な活動を通して調べたり、考えたり、表現したりすることができる。

月	時 数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 ～ 5	4	【国民の権利と義務／選挙の意義と仕組み】 ア 社会参加ときまり	【知識及び技能】 ・日本国憲法の基本原則を踏まえた上で、公職選挙法に触れ、選挙は国民の代表者を選出する大切な仕組みであること、国民は代表者を選出するため、選挙権を行使する必要があること、自身の考えで投票をしてよいことなど具体的に理解することができる。 【思考、判断力、表現力】 【学びに向かう力、人間性等】 ・生徒会役員選挙などをモデルにしながら、国民の政治参加を意味について表現することができる。	☐ 日本国憲法の基本原則 ①基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義 ②権利と義務 責任 ☐ 選挙に関わる法律と選挙の仕組み ①選挙の関わる法律と選挙の意義 ②選挙の仕組みと具体的な方法 【特別活動：生徒会役員選挙】	【知識・技能】 1 段階： <u>選挙は代表者を選出する大切な仕組み</u> であることが分かり、日本の選挙制度や具体的な選挙の方法について <u>知る</u> ことができる。 2 段階：選挙は代表者を選出する大切な仕組みであることが分かり、日本の選挙制度や具体的な選挙の方法について <u>理解する</u> ことができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：生徒会役員選挙などをモデルにしながら、国民の政治参加について <u>考えたり、自分なりに判断したり</u> することができる。 2 段階：生徒会役員選挙などをモデルにしながら、国民の政治参加について <u>考えたり、自分なりに判断したり、表現したり</u> することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：生徒会役員選挙などをモデルにしながら、国民の政治参加について <u>考えたり、自分なりに判断したり</u> することに最後まで <u>取り組むこと</u> ができる。 2 段階：生徒会役員選挙などをモデルにしながら、国民の政治参加について <u>考えたり、自分なりに判断したり、表現したり</u> することに最後まで <u>取り組むこと</u> ができる。
					評価方法：授業態度、プリント提出、出席、チャレンジ課題
5 ～ 7	8	【産業と生活】 エ 産業と生活	【知識及び技能】 ・自然を生かした日本の食料生産は、国民の食料確保に重要な役割を果たしていること、工業生産や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ国民の生活を向上させていることなどを理解することができる。 ・産業の種類、産業の分布や地域、生産量などを大まかに理解することができる。 【思考、判断力、表現力】 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な産業の発展や情報通信技術の活用はどのように国民生活の向上につながるのかなどを考えて、表現することや主体的な態度を養う。	☐ いろいろな仕事 ①仕事の種類と内容 ☐ 日本の食料生産 ①農業や水産業の役割 ②生産物の分布と生産量の変化 ☐ 日本の工業生産 ①工業生産の役割 ②工業生産の種類と分布 ③日本が誇る工業製品と製造工程 ☐ 産業と情報通信技術の活用 【数学：表、グラフ】 【職業：職業に関する知識】 【家庭：経済生活、消費生活】	【知識・技能】 1 段階：日本の産業の分布や地域、生産量などを大まかに <u>知る</u> するとともに、 <u>日本の食料生産や工業生産と国民の生活向上との関係</u> について知ることができる。 2 段階：日本の産業の分布や地域、生産量などを大まかに <u>理解</u> するとともに、日本の産業について、 <u>食料生産や食料確保の重要性、工業生産や情報通信技術の発展などと国民の生活向上との関係</u> について理解することができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：様々な産業の発展と国民生活の向上との関係について <u>考えようとしたり、自分なりの考えを表現したり</u> することができる。 2 段階：様々な産業の発展と国民生活の向上との関係について <u>考え、表現する</u> ことができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：課題に対して、主体的な態度で取り組むことができる。 2 段階：課題に対して、主体的な態度で取り組み、問題を解決することができる。
					評価方法：授業態度、プリント提出、出席、チャレンジ課題
8 ～ 11	10	【日本の歴史的な出来事と世界との関係】 オ 我が国の国土の様子と国民生活，歴史	【知識及び技能】 ・日本の歴史上の主な事象を学習することで、日本の様子の変化や世界との関係を理解する	☐ 日本歴史の流れと年代の表し方 ①年表の見方表し方 ②西暦・世紀・時代区分	【知識・技能】 1 段階：日本の歴史上の主な事象から、日本の様子の変化や世界との関係を大まかに <u>知る</u> ことができる。 2 段階：日本の歴史上の主な事象から、日本の様子の変化や世界との関

		カ 外国の様子	とともに、関連する業績、様々な文化について理解することができる。	【思考、判断力、表現力】 【学びに向かう力、人間性等】 ・文化遺産などに着目し、各時代の人々によって生み出された社会事象について、主体的に考えをまとめたり、表現したりすることができる。	□歴史上の主な出来事と文化・外国との関係 ①日本の原始・古代と外国との関係 ②日本中世と外国の関係 ③近代・近世と外国との関係 ④近代・現代と外国との関係	係を大まかに <u>理解</u> することができる。
						【思考・判断・表現】 1 段階：日本の歴史上の主な事象を <u>調べたり、表現したり、感じたり</u> することができる。 2 段階：日本の歴史上の主な事象を <u>調べたり、表現したり、自分なりの考えをまとめたり</u> することができる。
						【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：課題に対して、主体的な態度で取り組むことができる。 2 段階：課題に対して、主体的な態度で取り組み問題を解決することができる。
						評価方法：授業態度、プリント提出、出席、チャレンジ課題
11 ～ 1	7	【外国の様子と国際社会における諸問題】 カ 外国の様子 オ 我が国の国土の様子と国民生活，歴史	【知識及び技能】 ・国際平和に関する日本の役割の理解を一層深めるとともに、国際社会における様々な諸問題について理解することができる。	【思考、判断力、表現力】 ・日本の国土の構成などに着目し、日本の様子を捉え、その特徴を表現することができる。	【学びに向かう力、人間性等】 ・外国との関係を理解し、互いに尊重し合うことのできる態度を養う。	□世界の中の日本 ①国旗の意義 ②世界と日本（国土の位置、その特色） ③日本の領土
						□国際社会における様々な諸問題 ①日本における領土問題 ②国際的な諸問題
						□国際平和 ①国際連合と国際協力
						【理科：物質・エネルギー 地球・自然】
2 ～ 3	6	【環境と私たちの生活】 ウ 我が国の国土の自然環境と国民生活	【知識及び技能】 ・自然災害、エネルギー問題、ゴミ問題などに着目し、これらが国土の環境保全と国民生活にどのような影響しているのかなどを理解することができる。	【思考、判断力、表現力】 ・国土の環境保全について、自分たちができることなどを考え、表現することができる。	【学びに向かう力、人間性等】 ・国土の環境保全への関心を高める態度を養う。	□環境と私たちの生活 ①エネルギー問題とリサイクルエネルギー ②ゴミ問題とリサイクル ③エコ商品とエコマーク
						□自然災害と防災 ①自然災害の種類 ②過去に発生した自然災害とその地域・被害 ③防災対策
						□自分たちができること
						【理科：物質・エネルギー 地球・自然】
						【知識・技能】 1 段階：自然災害、エネルギー問題、ゴミ問題などに着目し、国土の環境保全と国民生活への影響について知ることができる。 2 段階：自然災害、エネルギー問題、ゴミ問題などに着目し、国土の環境保全と国民生活への影響について自分なりに理解することができる。
						【思考・判断・表現】 1 段階：様々な災害への対応や環境問題について考えたり、表現したりすることができる。 2 段階：様々な災害への対応や環境問題について、自分たちができることなどを考えたり、表現したりすることができる。
						【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：環境保全に関心をもった態度で取り組むことができる。 2 段階：環境保全に関心をもった態度で最後まで取り組むことができる。
						評価方法：授業態度、プリント提出、出席、チャレンジ課題